

# 地域医療に 取り組む

大規模災害医療救護訓練

▶問い合わせ／保健課 内線5511 市立病院 地域医療総合連携室 ☎0265(21)1255 内線2237

医療スタッフの不足、少子高齢化など地域医療をとりまく環境は、厳しくなっています。休日夜間救急診療を含め、普段当たり前のように受けている医療も、実は多くの関係者の努力で維持されています。

当地域では、医師会・歯科医師会・薬剤師会と行政などが緊密に連携して「飯伊地区包括医療協議会」を組織し、地域医療を維持するため日夜活動しています。全国的にも先進的なこの活動は、地域医療推進の「飯田モデル」として、全国で注目を浴びています。

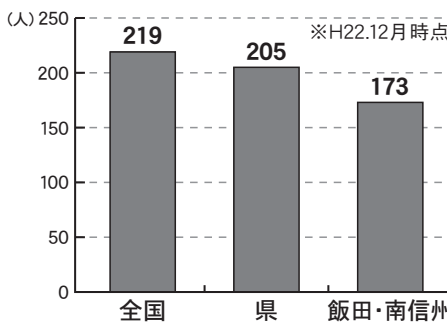
高齢化率

全国	県	市
23.4%	26.7%	29.5%

【図①】

※H23.10月時点

人口10万人あたりの医師数



【図②】

※H22.12月時点

地域医療をとりまく  
厳しい環境

飯田・南信州地域は、高齢化率が全国平均や県平均を上回っている一方（図①）、人口10万人当たりの医師数は、全国平均や県平均を下回っています（図②）。しかも、この地域の面積は、香川県や大阪府より広大でありながら、住居は点在しており、医療機関の多くが中心部に集中しています。このような状況は、当地域に限らず、全国の地方都市の抱える課題でもあります。

医療機関の連携で  
地域医療を守る

こうした状況の中で、当地域は、地域内の医療機関が連携して地域医療を守っています。

これは、飯伊地区包括医療協議会を中心に、医師会・歯科医師会・薬剤師会と行政・関係機関が良好な信頼関係にあることが大きな要因の一つです。

休日夜間の救急医療は、一次医療を休日夜間急患診療所や在宅当番医で行っています。一次医療のバックアップと救急車搬送などによる重篤患者に対する二次医療は、病院群の輪番制で対応しています。（4頁参照）

産科医療についても、分娩を取り扱う医療機関が減少する中、産科問題懇談会を中心に、地域内での連携や役割分担により、里帰り出産を含め地域内で出産できる状態を確保していますが、周産期センターの早期完成と医師確保に努めなければなりません。

また、大規模災害に対して医療救護が速やかに行われるよう飯伊地区包括医療協議会では、災害時の医療の受け方についての啓発と医療機関、市町村、地区防災会、保健所、消防、日赤奉仕団などと連携して訓練を実施しています。



盤石な医療体制のために  
日夜取り組む

社団法人 飯田医師会  
会長 市瀬 武彦さん(市瀬整形外科)

この地域には、飯田市医師会と飯田下伊那医師会の2つがありましたが、平成14年に合併して1つの医師会になりました。現在の会員は281名。開業医が112名で、あとは病院勤務医です。

医学は日進月歩しています。昨年は、大学教授などを招いた勉強会を約65時間行いました。これは県内で最も多い時間です。飯田医師会は、日々絶えず勉強していますので、皆さんもかかっている先生の言うことを信頼して、何でも相談してほしいと思います。

学校医活動、がん健診事業、乳幼児や高齢者をはじめとした予防接種などに取り組みながら、新型インフルエンザなどの緊急事態にも、保健所などと密接に連携して冷静に対応しています。

以前、県外からこの地に永住した方に「その理由の1つは、医療体制がしっかりしているから」と言われ、励まされたことがあります。

開業医と専門的な治療を行う病院との連携もほぼ順調に機能しています。地域内の病気は、地域内で治療できることが理想です。

地域医療を維持していく上で、大きな課題の1つに看護師不足の問題があります。看護師の育成に力をいれていかないと将来大変なことになります。

難しいことですが、市民の皆さんも含めて地域全体で考えてほしいと思います。



「飯田モデル」を維持して  
地域医療を守る

飯伊地区包括医療協議会  
会長 蟹江 孝之さん(蟹江医院)

昭和49年2月に発足した協議会は、現在、三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)、行政、広域消防、保健医療福祉関係者、小中高等学校などで構成されています。各団体が、常に集まり、十分な議論をして協力体制を維持してきています。

少子高齢化、生活の変化の中で、休日夜間の救急患者が多くなっており、休日夜間急患診療所と在宅当番医診療所(一次医療)、病院群輪番制(二次医療)、市立病院(二次・三次医療)などそれぞれが役割を果たすことで対応しています。体制が整っていない地域が全国的に多い中で、この地域では患者さんのたらい回しがないことを誇りに思っています。

しかし、最近は地域内の医師の高齢化が進み、この体制を維持していくことも大変です。当番体制の改善を試みながら、医師確保のため地元出身で地域外にいる医師や医学生とコンタクトをとったり、医療職の就職ガイダンスなどを開催しています。

また、予想される巨大地震への備えとして、大規模災害訓練も行っています。9月の防災訓練にあわせて地元の皆さんと一緒に災害救護の訓練をしています。さらに、出生から成人まで使える「健康の記録手帳」の配付などさまざまな事に取り組んでいます。

そうした一連の事業が評価されて、保健衛生分野では日本で最高の権威とされる「第60回保健文化賞(主催:第一生命保険会社株)」を受賞しています。(平成20年10月)

データ

長野県の平均寿命は、男性が79.84歳で全国1位(全国78.79歳)。女性は、86.48歳(全国85.75歳)で全国5位となっています(平成17年)。

国民健康保険の一人あたり医療費は、長野県は全国で低い方から12位。後期高齢者医療では、同5位となっています(平成22年度)。

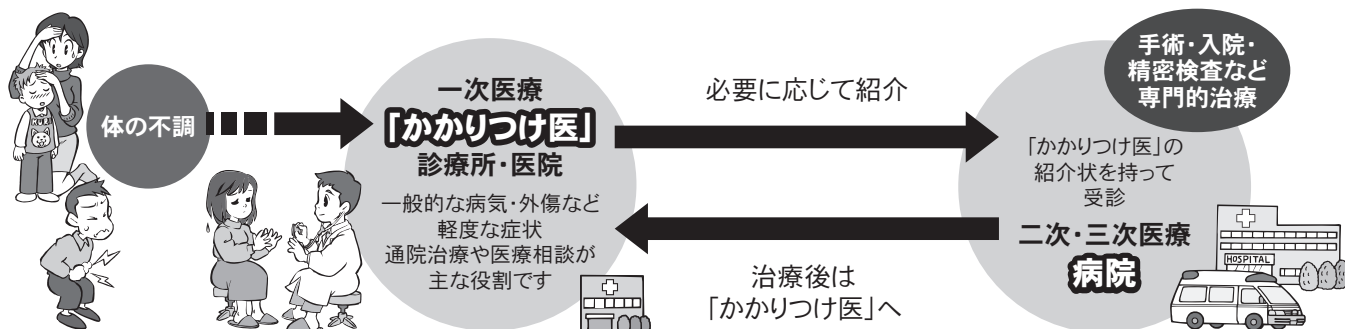
# お医者さんの上手なかかり方

## 診療所(医院)の診療時間内に受診しましょう

- 診療時間内に、いつも診察してもらっている「かかりつけ医」に診てもらいましょう。
- 「かかりつけ医」なら、いつも診察している患者さんのことをよく知っているため、カルテの情報などから、総合的に判断でき、適切な治療が受けられます。
- 緊急の場合以外は、時間外の受診はやめましょう。(コンビニ受診はやめましょう。)

## 診療所(医院)と病院の連携

- 診療所(医院)と病院は、それぞれの役割を生かしながら連携をとって治療を行ってくれます。



## 休日や夜間に急な病気やケガをした時は・・・

※詳しくは、平成23年3月に全戸にお配りした医療ガイドをご覧ください。

### 夜間(毎日)

- 休日夜間急患診療所(内科・小児科) 午後7時～午後10時30分 (受付午後10時まで)  
☎ 0265 (23) 3636 住所: 東中央通り5-96

### 休日(日曜日・祝日・年末年始・お盆)

- 休日夜間急患診療所(内科・小児科) 午前9時～午後5時 (受付午後4時30分まで)  
☎ 0265 (23) 3636 住所: 東中央通り5-96
- 在宅当番医(内科・小児科・外科・産婦人科) 新聞などで確認 午前9時～午後6時

### 土曜日

- かかりつけ医 (かかりつけ医が休診の時は、休日夜間テレフォンセンター ☎0265 (23) 3636へお問い合わせください。)

### 輪番制二次病院(内科・外科)

- 重篤な症状の患者さんは、輪番制二次病院に救急搬送

## かかりつけ医を見つけましょう

いつでも気軽に相談に行けて、適切な治療や指導を受けることができる身近なお医者さんを見つけて、健康管理の心強い味方になってもらいましょう。

初期診療で、精密検査や専門治療・高度医療、入院などが必要になったときは、「紹介状(診療情報提供書)」により適切な医療機関を紹介していただけます。



「地域完結型」の推進  
地域医療は、地域内の各医療機関の特性や施設基準などを生かした「地域完結型」医療を推進していきます。  
安心、安全で水準の高い医療が地域内で受けられるように、各医療機関の役割分担を図りながら、患者さんを地域内で支えるための連携体制を整えていくことが重要とされています。